第12回 倫理委員会 会議の記録の概要

弗 12 四	偏埋安員会 会議の記録の概要
開催日時	平成 30 年 6 月 8 日 (金) 17:05~17:35
開催場所	2階第1会議室
出席委員	原田和昌、黒岩厚二郎、荒木厚、時村文秋、山田浩和、森淑子、黒坂眞理子、増田義重、 北村明彦、後上順子、中井昌利、相田幸治、永井俊彦、奥田明彦、濃沼政美、松嶋由紀子、 永井尚美、千葉俊之、越阪部剛、阪本和嘉子
議び果主の題審をな概とは結む論	来井両美、干葉侯之、趣阪部剛)阪本和嘉子 報告事項は以下の通りである。 ① 修正報告 以下の事項について修正の確認が行われたことを報告した。 ・R18-02:抗 CD38 抗体治療に関わる輸血検査上の問題点の抽出とその解決に向けた手法の開発 に関する共同研究 〈輸血・細胞療法科 小林 寿美子〉 ・R18-04:非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業 〈輸血・細胞療法科 小林 寿美子〉 ・R18-05:脊椎手術における傍前フレイル評価研究 〈育椎外科 大和 志匡〉 ・R18-07:造血細胞移植医療の全国調査 〈血液内科 宮腰 重三郎〉 ② 迅速審査結果 以下の事項について迅速審査が行われ全て承認となったことを報告した。 【新規】 ・R18-06: 癌性疼痛に対する超音波内視鏡下腹腔神経叢ブロック(EUS-CPN)の治療成績および 有用性に関する検討 〈内視鏡科 松川 美保〉 ・R18-08:心筋 SPECT 検査における半導体ガンマカメラと従来型ガンマカメラとの画像比較検討 〈福霖器内科 石川 譲治〉 ・R18-09: 嗜銀顆粒性認知症(AGD)の認知機能(HDS-R、MMSE、CDT、FAB)の特徴について ~AD、DLB、正常範囲(MNL)の各群との比較より~ 〈精神科 扇澤 史子〉 ・R18-10:アルツハイマー病脳内のネプリライシン発現変化を反映する血液中ネブリライシンの 検出法の確立とバイオマーカーへの応用 ―認知症バイオマーカーの研究― 〈神経内科・バイサンスシー(高齢者ブレルバン) 村山 繁雄〉 ・R18-11:レビー小体型認知症の重症度における前頭葉機能障害の検討 一下のれよ日 Assessment Battery (FAB)を用いた正常範囲(MNL)、ADとの比較― 〈特維科 岡本 一枝〉 ・R18-12:初期認知症における模写課題の誤りの質的検討 アルツハイマー型認知症、レビー小体認知症、正常範囲内の比較を通して 〈精神科 岡本 一枝〉 ・R18-15:原第平り後てんかんの内科的治療予防効果及び再発予測因子の検証に関する 前方視的研究 〈神経内科 本山 りえ〉 ・R16-15:解卒中後てんかんの内科的治療予防効果及び再発予測因子の検証に関する (治療器内科 原田 和昌〉 〈な対線診断科 原田 和昌〉 ・R17-51:[□1]ioflupaneの心筋集積に関する研究 〈放射線診断科 原田 和昌〉 ・R17-51:[□1]ioflupaneの心筋集積に関する研究 〈放射線診断科 原田 和昌〉 ・R17-51:[□1]ioflupaneの心筋集積に関する研究 〈対射線診断科 原田 和昌〉 ・R17-51:[□1]ioflupaneの心筋集積に関する研究 〈放射線診断科 原田 和昌〉 ・R18-01:尿路感染症患者における尿中エクリソーム解析
	7110

③終了報告

- ・R17-24:新規体外診断薬 SCC Reagent Kit の臨床性能の評価 <臨床検査科 増田 義重>
- ④「研究責任者・研究者等リスト」の新規作成を報告
- ・R14-01: 再発危険因子を有するハイリスク Stage II 結腸がん治癒切除例に対する 術後補助化学療法としての mF0LF0X6 療法の至適投与期間に関するランダム化第 III 比較臨床試験 JFMC48-1301-C4 (ACHIEVE-2Trial)
 <外科 黒岩 厚二郎>
- ⑤研究所の研究 (新規) の迅速審査結果 (承認) が報告された。
- ・K59:デイサービスの地域拠点により高齢者の新たな役割を創出する取り組み

<東京都介護予防推進支援センター 伊藤 久美子>

- ・K60: SOD1遺伝子変異(L126S)を有する家族性筋萎縮性側索硬化症の剖検例の 病理学的検討 <高齢者バイオリソースセンター 松原 知康>
- ・K61: 泌尿器科癌エクソソーム関連タンパク、RNA の解析

<福祉と生活ケア研究チーム 伊東 美緒>

- ⑥臨床研究法の概要について研修を行った。
- ⑦2018年5月度の第11回倫理委員会議事録について審議を行った。